

コロナ対策 学生支援に関心

萩生田文科大臣が本学視察

遠隔、対面授業や食堂を

萩生田光一文科科学大臣が6月30日、本学を訪れ、新型コロナウイルスに関する学生支援や感染症対策への取り組みなどを視察した。

萩生田大臣は正門入口に設けられた検温所で、手指のアルコール消毒と発熱検知サーマルシステムによる検温を体験。デザイン科学科のオンライン活用授業や、機械工学科が再開した製図などの対面授業を見学した。

また、学生の食の安定を第一に考え、全学生に1日3食利用できる食券(2万円分)を支給。感染防止のためのマスク5枚と、本学OBが発案し話題を呼んだ富士山消しゴムを手渡す様子を見て大学のさまざまな対応に感心していた。この消しゴムは昨秋の台風や豪雨で被害を受けた県内10市町の小中学生に贈ったもの(6面に詳細記事)。



正門の検温所で(左から)瀬戸熊理事長、萩生田大臣、松井学長



オンライン授業を視察(左端)

< 本学のコロナ対策 詳細 >

本学では入学時、学生全員に無償貸与しているiPadを利用したオンライン授業を5月18日から開講したが、緊急事態宣言の解除で6月22日から、一部科目の対面授業開始を決めた。入構制限は緩和したものの、部外者については原則入構禁止、企業関係者は担当窓口を通して入構可能としている。対面での窓口対応や学内見学は引き続き休止。これら入構対象者や入構方法、大学の新型コロナウイルス感染防止対策の詳細は、6月17日付ウェブサイトで公開した。

【入構許可日】 令和2年6月22日～ ※平日のみ
【入構許可者】 ①対面授業を受講するための入構(履修登録者のみ) ②対面授業におけるTA業務のための入構(TA登録者のみ) ③研究室に所属されている学生が自身の論文等の作成のために行う実験や解析、工作あるいは加工等の作業のための入構(許可者のみ) ④学内でオンライン形式の授業を受講するための入構⑤就職相談のための入構(事前予約者のみ) ※いずれの対象者も入構には事前申請や履修登録、TA登録が必要となる。

【入構のための必要手続き】 上記許可者①=履修登録が必要▽上記許可者②=T A登録が必要▽上記許可者③=指導教員からの申請が必要▽上記許可者④=入構時に申告し教務課で許可を得ること▽上記許可者⑤=前日16時まで就職システムで予約をすること。

【入構に際しての注意事項】 出入口について(津田沼キャンパス)正門、車輦門のみ開門 ※駐輪場は利用可能だが通用門を封鎖しているため、正門から入構すること。(新習志野キャンパス)正門のみ開門 ※駐輪場は利用可能だが、駐輪場から大学構内への入口は封鎖しているため、正門から入構すること▽入構時に学生証をチェック。必ず学生証を持参すること▽マスクを着用すること▽入構時に検温と手指の消毒を行う(体温が37度以上ある場合は入構不可)。入構の際、出入口で検温機による体温測定及びアルコールでの手指の消毒を行う ※体温が37℃以上の場合入構不可。部外者の入構は不可。企業等からの来訪者については事前に訪問先の部署・教職員にアポイントが必要。

【各施設で実施している対策について】 建物内について(各号館で実施) 出入口にアルコール等の消毒剤を設置▽階段の昇降区分分けを徹底する▽エレベーターの搭乗人数の制限を徹底する。

●PC演習室 PCの対面設置に対して飛沫感染防止用の衝立を設置する▽十分な座席間隔となるように使用できるPCを制限する▽係員によるキーボード等の定期的なアルコール消毒を実施する。

●学生寮 毎朝、寮生1人1人の検温を実施し記録する▽飛沫感染防止のため寮生食堂の各席に衝立を設置し、十分な座席間隔を取る▽共用スペースの利用制限と入場制限を行う▽寮内でのマスクの着用を義務化する。

●食堂 対面授業開始に伴い、新習志野キャンパス、津田沼キャンパスの学生食堂の営業が再開した。本学では食の安定を目指した支援として、学生1人当たり2万円分の食券を支給。22日の対面開始日からマスク5枚と消しゴムを併せて配付している。

また、食堂における新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記のような対策を講じている ▽入口にアルコール等の消毒剤を設置する▽混雑時に入場を制限する▽十分な間隔が取れるよう座席の間引きをする▽飛沫感染防止のための正面衝立の設置▽トレイ、箸、湯飲み等の個別セッティング(不特定多数が触れる状況の回避)▽醤油等の個別パック化(同上)▽マスク収納袋の配布など

【食堂営業時間】 月～金 (朝) 8:30～9:30 (昼) 11:00～14:00



パナから「ルーロ」本学に

「fuko Technology」搭載と、本学未来ロボット技術研究センターの略称を冠したロボット掃除機「Ruleo(ルーロ)」シリーズの最上位モデルが4月20日、家電最大の㈱パナソニックから発売されたが、産学共同で商品化した知能家電の第一弾を記念し、同社から本学にこのほど

共同商品化記念に届く

「ルーロ」が贈呈された。当初は小川理子(㈱パナソニック)副社長から直接手渡しする予定だったが、新型コロナウイルス禍の影響で、郵送で到着。同プロジェクトリーダーの古田貴之(fuko Technology)所長(写真左)から瀬戸熊理事長(写真右)に贈呈された。

食堂では、作業センター職員が製作したオリジナルの間仕切りを配置。間隔を空けて座席を指定し、外したマスクの収納袋を配布するなど細かい配慮の中で大臣自ら学食

体験をした。これに先立ち、1号館20階で瀬戸熊理事長、松井孝典新学長らと懇談。松井学長が本学惑星探査研究センター(PE RC)や地球学研究セン



ター、未来ロボット技術研究センター(fuko Technology)の研究を説明。古田貴之(fuko Technology)所長は本学が技術提供したパナソニックの掃除機「Ruleo」を紹介し、低学年のうちから科学に触れる機会を増やすべきだと、人材育成の重要性を訴えた。

萩生田大臣は視察後、「オンライン授業と対面授業再開の様子を拝見し、コロナに負けずに勉学に動んでいる学生の姿にホッとしました。日本の科学技術を発展させ、科学技術を担う人材を育てている大学として、今までの歩みを大切にしながら更なる高みを目指して取り組みを進められることを期待しています」と感想を述べた。視察の様子は後日、文科省のウェブサイトに掲載され、新型コロナウイルス感染症対策に対する本学の取り組みがメディアで広く紹介された。



製図の対面授業④について説明を聞く



食堂で間隔をあけての食事体験



配布している食堂の食券とマスク、富士山消しゴム



古田所長から説明を受ける



松井学長から鉄隕石の説明を聞く

「農工芸レストラン」受賞

デザ科 佐藤研の4人

農業を通じて社会的課題の解決を目指す「第4回大地の力コンペ」(東京都千代田区の未来農業創造研究会主催)3月6日(8日)は、新型コロナウイルスの感染拡大で、会場に集まらずファイナリスト11チームがプレゼン動画(6分間)を主催側に送ることで競われ、



佐藤研の(左から)佐藤さん、遠藤さん、古閑さん、木村さん、

佳さん、遠藤杏美さん、佐藤海斗さん、木村颯汰さん。規格外野菜と子ど

もへの食育を合わせて考え、体験型レストランを提案した。野菜嫌いの多

い子どもたちを農業体験に誘い、野菜で工作したり、規格外野菜を使った料理を食べてもらい、食育につなげる。

県内の市川市厚木に472平方メートルのモデル地を設定。規格外野菜の廃棄に抵抗がある農家に野菜を提供してもらい、敷地で農業体験も手ほどこしてもらった。

レストランは平屋の同一空間に食事と工作のスペースを設け、規格外野菜の加工品も販売する。訪れるだけで3つの食育要素(農業体験/工作・

料理/販売)があり、経費も維持できるビジネスモデルとして提案した。

タイトルの「Reveger(レベジャー)」は「rest,unt,experience,vegetables,revolve」を組み合わせた造語で、農業体験ができる規格外野菜を使ったレストランを費も維持できるビジネスモデルとして提案した。

古閑さんら4人は、農業が抱える問題を知るよい機会になったという。佐藤教授は「この学年の研究発表賞を受賞した。研究室メンバーでの初め目指して名付けた。グッドチャレンジ賞は農業の活性化に果敢に挑んだアイデアに贈られる。」

研究発表賞を受賞した。ロボ制御とは制御工学で、対象の数式モデルが実際と多少異なっても希望の性能内に収める技術。PIDは微積分など3つの要素で入力値を決定するが、解析結果と実際の差である「保守性」が大きくなりやすい。照井さんは、この保守性を低減しようと、設計過程で行う「安定判別」という作業に着目。先行研究とは異なる「写像定理とレオンハルト法による安定判別」という手法を検討し、実際に保守性が低減できたかを数値実験で検証した。

制御工学誤差低減を研究

照井さん 学生発表賞



学生発表賞の照井さん

制御系設計法の保守性の低減/写像定理とレオンハルト法によるアプローチ(Sci.2019.5.20-22日、コロナ禍のためウェブ会議システムZoom上で開催)で、照井遠さん(電気電子工学専攻修士1年、松田忠典研究室)が「ロボASTPID

自律ロボ技術、また一歩

友納副所長が最優秀賞に



計測自動制御学会などが共同主催する「第25回ロボティクスシンポジ

3D地図を生成する際、位置観測の累積誤差を大幅に減らせるが処理が難しい「ループ閉じ込み」技術を、リアルタイムで適用できるようにした。ロボットでなく人間が3D-LiDARを手で持って歩いて計測しても利用できるという。

ロボティクスシンポジウムは日本機械学会、計測自動制御学会、日本ロボット学会が共同主催する

電源回路の小型化で受賞

櫻山さん、長島さん 英文で

米国ハワイ州ホノイキキ・ビーチホテル)で予定されていた国際会議「2020 International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing」(NOSP'20)2月28日(3月2日)、ヒルトン・ワ

電子工学科4年、魏秀欽研究室(写真上)と長島宏陽さん(同1回下)がともにStudent Paper Awardを受賞した。発表内容と感想は次の通り。

櫻山 佳紀さん

「電子電機機器に含ま

れる電源回路の小型化・高効率化について」E級インバータをさらに小型化しようと試みた。従来型では高周波動作による小型化だけが考えられていたが、櫻山さんはこれに加えインダクタの小型化を検討して回路を設計した。

英語で論文を書き、研究テーマもなかなか良いものが得られず苦労したという。

「4カ月ほどかかった論文で、よい結果を残せて、とてもうれしいです。魏先生と支えくれた仲間感謝しています」

長島 宏陽さん

「Design of Class-E2 DC-DC Converter for

やはり英語での執筆に苦労したという。「研究室の同期や先輩、先生のアドバイスや添削がなかったら賞をいただけなかったと思います。とても感謝しています。最後までやり切ったよかったと思います」

実践的な宇宙工学教育称え

和田准教授に挑戦賞



機械電子創成工学科の和田准教授(写真)が、能代宇宙イベントを通じて実践的な宇宙工学教育に貢献した、と4月24

日、大宇宙工学コンソーシアム(UNISEG)宮崎実行理事長からUNISEG挑戦賞を贈られた。新型コロナウイルス対策で、理事会で審査のうえ受賞者に決定連絡があった。能代宇宙イベントは、2005年にペンシルロケット発射50周年を記念して秋田県能代市で始

千葉工業大学決算（令和元年度）を承認

学校法人千葉工業大学の令和元年度決算が、6月9日の理事会・評議員会で承認された。令和元年度は、教育・研究活動のため西浜運動施設・多目的ホールを建設。また、新習志野キャンパスの8号館の空調設備を全面更新。魅力ある大学づくりの一環として環境整備の充実を目指した予算となった。（元年度事業報告の全文は本学ウェブサイトで公開中）

1 教育研究活動

- （1）入学試験関係
令和2（2020）年度入学試験における学部入試の総志願者数は10万5023名（前年度9万2528名）となった。
- （2）学生生活の満足度向上へ向けた継続的対応
- （3）入学前教育の充実
- （4）教養基礎教育カリキュラムの充実
- （5）初年次教育の充実
- （6）教職員が連携した就職支援
- （7）大学院への進学支援
- （8）キャリア教育科目実施サポート
- （9）キャリア形成支援プログラムの強化
- （10）インターシップの促進
- （11）新入生に対する少人数制による総合的な支援
- （12）学修成果の可視化の取り組み
- （13）習熟度別教育の充実
- （14）包括協定に基づく神田外

援の強化

- （15）大学院志願者増加に向けた取り組み
- （16）大学院工学研究科改編に向けた取り組み
- （17）JABEE（日本技術者教育認定機構）認定申請に向けた取り組み
- （18）FD活動の推進
- （19）教育業績の表彰

2 研究推進活動

- （1）海外交流協定大学との連携強化とグローバル化

- ① 学生の国際交流
- ② 海外交流協定大学との教職員交流
- （2）国または地方公共団体等からの競争的研究資金等の獲得支援

- ① 特許出願
- ② 特許
- ③ 附属研究所
- ア・研究助成金の交付
- イ・研究助成金の交付
- （1）先端研究推進プロジェクト助成金（Ⅰ）
- （2）先端研究推進プロジェクト助成金（Ⅱ）
- （3）若手教員研究支援助成金
- （4）科研費採択者助成金
- イ・プロジェクト研究年報の作成
- ウ・材料解析室・工作センター
- （5）未来ロボット技術研究センター（furo）
- ① 外部からの資金獲得
- ② その他展示・記者発表等
- （6）惑星探査研究センター（PERC）

- 惑星探査研究センターは、惑星探査装置の開発、惑星探査データの解析、惑星科学研究および受託研究費
- （4）研究助成関係
- び惑星科学に関する啓蒙を主な活動内容としている。
- （7）人工知能・ソフトウェア技術研究センター（STAIR Lab）
- 人工知能研究では「ディープラーニングを使ってきめ細かな人の動作の認識をする」「フライングレイン画像認識のプロジェクト」「大規模データからの知識獲得プロジェクト」の3つのプロジェクトを進めている。
- ソフトウェア技術研究では、機械学習研究を支援するフレームワークの研究、機械学習技術を応用したプログラム改善のためのフレームワークの研究、AIエッジデバイス（機械学習等の人工知能機能が搭載された末端機器）の横断的なセキュリティ評価のための研究の3つを軸にさまざまな研究・開発を進め、多くの成果を上げた。

- （8）次世代海洋資源研究センター（ORCENG）
- 次世代海洋資源研究センターは、世界初の海洋資源開発実現に向けて、海洋資源の探査・揚鉱・選鉱・製錬といった基礎から応用に至る多様な研究・開発を実施する機関として平成28（2016）年4月に発足。令和元（2019）年度は、常勤5名、非常勤6名の研究員が研究に従事した。
- （9）国際金融研究センター（GIFR）
- 国際金融研究センターでは、ファイナンス研究及びデータサイエンス機構（DSI）における研究、地域貢献を進めている。さらには、全国的にも数少ない事例となる学力データの分析について千葉市との間で共同研究を進めている。

- （10）地球学研究センター（Geo-Cosmo Inst.）
- 地球学研究センターは、古代文明の始まりとその進化について、科学的な知見に基づいた研究を推進する機関として令和元（2019）年7月に発足。現在は鉄器文明に着目し、隕鉄製遺物や古代遺跡から発掘された鉄遺物の研究を行っている。また、考古学分野と分析化学分野の研究者が協力して研究を行う体制の構築を進めている。

3 学生支援関係

- （1）学生支援の充実強化（学生相談、課外活動、学生寮、奨学金等）
- ① 学生相談
- ② 課外活動支援の充実
- ③ 学生寮生に対する支援
- ④ 奨学金支援活動
- ⑤ 障がい学生支援の充実
- （2）学生共済会の取り組み
- ① 見舞金給付
- ② 学生納付金貸与制度
- ③ こころからの元気サポート
- ④ 暮らしの法律相談
- ⑤ 学生補償サポート制度
- ⑥ 備蓄食の購入
- ⑦ 健康サポート制度
- （3）留学生の派遣及び受け入れ体制の充実
- ① 留学生への支援の充実
- ② 在籍管理等の強化
- ④ 学生の自学自習を支援するための参考図書（シラバスコーナー）の充実
- （5）図書館利用者への利便性の向上
- （6）電子書籍等の学術情報資源の整備強化

事業活動収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

事業活動収支の部	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	14,123,000,000	14,125,963,500
事業活動収入の部	手数料	419,900,000	423,254,233	△3,354,233
	寄付金	128,500,000	143,144,551	△14,644,551
	経常費等補助金	752,200,000	757,773,259	△5,573,259
	付随事業収入	664,400,000	698,460,762	△34,060,762
	雑収入	381,000,000	454,806,403	△73,806,403
	教育活動収入計	16,469,000,000	16,603,402,708	△134,402,708
	人件費	7,458,200,000	7,442,929,986	15,270,014
	教育研究経費	6,799,500,000	6,628,190,426	171,309,574
	管理経費	1,855,400,000	1,786,022,981	69,377,019
	徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	16,113,100,000	15,857,143,393	255,956,607	
教育活動収支差額	355,900,000	746,259,315	△390,359,315	
教育活動外収支の部	受取利息・配当金	533,000,000	533,871,024	△871,024
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	533,000,000	533,871,024	△871,024
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	248,200,000	221,403,075	26,796,925
教育活動外支出計	248,200,000	221,403,075	26,796,925	
教育活動外収支差額	284,800,000	312,467,949	△27,667,949	
経常収支差額	640,700,000	1,058,727,264	△418,027,264	
特別収支の部	資産売却差額	4,300,000	4,373,051	△73,051
	その他の特別収入	51,100,000	66,403,568	△15,303,568
	特別収入計	55,400,000	70,776,619	△15,376,619
	資産処分差額	128,500,000	128,484,151	15,849
	その他の特別支出	1,700,000	1,617,700	82,300
特別支出計	130,200,000	130,101,851	98,149	
特別収支差額	△74,800,000	△59,325,232	△15,474,768	
基本金組入前当年度収支差額	565,900,000	999,402,032	△433,502,032	
基本金組入額合計	△1,001,700,000	△997,481,781	△4,218,219	
当年度収支差額	△435,800,000	1,920,251	△437,720,251	
前年度繰越収支差額	△7,105,900,000	△7,105,878,323	△21,677	
翌年度繰越収支差額	△7,541,700,000	△7,103,958,072	△437,741,928	
事業活動収入計	17,057,400,000	17,208,050,351	△150,650,351	
事業活動支出計	16,491,500,000	16,208,648,319	282,851,681	

(参考)

貸借対照表

令和2年3月31日

(単位：円)

科目	資産の部		
	本年度末	前年度末	増減
固定資産	111,136,477,003	110,176,911,724	959,565,279
有形固定資産	66,042,633,612	67,950,230,377	△1,907,596,765
土地	9,343,367,496	9,343,367,496	0
建物	48,828,533,662	50,198,395,960	△1,369,862,298
構築物	3,067,927,281	3,329,739,253	△261,811,972
教育研究用機器備品	2,432,602,154	2,427,997,392	4,604,762
管理用機器備品	480,202,912	675,960,497	△195,757,585
図書	1,809,573,581	1,913,228,838	△103,655,257
車両	80,426,526	61,540,941	18,885,585
特定資産	43,858,372,470	41,013,604,150	2,844,768,320
第2号基本金引当特定資産	3,958,372,470	3,613,604,150	344,768,320
第3号基本金引当特定資産	10,000,000,000	10,000,000,000	0
退職給与引当特定資産	3,000,000,000	3,000,000,000	0
減価償却引当特定資産	26,500,000,000	24,000,000,000	2,500,000,000
国際交流支援基金引当特定資産	100,000,000	100,000,000	0
PCB処理引当特定資産	300,000,000	300,000,000	0
その他の固定資産	1,235,470,921	1,213,077,197	22,393,724
長期貸付金	286,219,201	263,586,677	22,632,524
差入保証金	2,500,000	2,500,000	0
敷金	54,749,760	54,749,760	0
投資有価証券	891,877,600	892,177,600	△300,000
預託金	124,360	63,160	61,200
流動資産	10,922,593,703	10,446,049,571	476,544,132
現金預金	10,527,472,872	10,102,403,090	425,069,782
未収入金	314,878,004	282,609,430	32,268,574
前払金	80,242,827	61,037,051	19,205,776
資産の部合計	122,059,070,706	120,622,961,295	1,436,109,411

科目	負債の部		
	本年度末	前年度末	増減
固定負債	3,282,015,356	3,302,279,704	△20,264,348
退職給与引当金	3,282,015,356	3,302,279,704	△20,264,348
流動負債	6,834,821,017	6,377,849,290	456,971,727
前受金	6,023,759,015	5,571,655,909	452,103,106
未払金他	811,062,002	806,193,381	4,868,621
負債の部合計	10,116,836,373	9,680,128,994	436,707,379

科目	純資産の部		
	本年度末	前年度末	増減
基本金	119,046,192,405	118,048,710,624	997,481,781
第1号基本金	104,095,819,935	103,443,106,474	652,713,461
第2号基本金	3,958,372,470	3,613,604,150	344,768,320
第3号基本金	10,000,000,000	10,000,000,000	0
第4号基本金	992,000,000	992,000,000	0
繰越収支差額	△7,103,958,072	△7,105,878,323	1,920,251
翌年度繰越収支差額	△7,103,958,072	△7,105,878,323	1,920,251
純資産の部合計	111,942,234,333	110,942,832,301	999,402,032
負債及び純資産の部合計	122,059,070,706	120,622,961,295	1,436,109,411

4 施設設備整備関係

- 令和元（2019）年度は、西浜運動施設・多目的ホールを建設した。また、新習志野キャンパス8号館（講義棟）の空調設備を全面更新し、御宿研修セ

ンターの空調設備及び受変電設備、非常発電機設備の全面更新をした。

昨年度に引き続き、魅力ある大学づくりの一環として、教育・研究活動・学生課外活動を支える環境整備の充実に努めた。

- (1) 西浜運動施設・多目的ホール建設
- (2) 新習志野キャンパス8号館空調設備更新
- (3) その他

5 地域・社会への貢献

- (1) 公開講座
- (2) 産官学連携協議会関係
- (3) その他の産学連携
- (4) 県内地域との包括的連携協定を締結

6 法人管理・運営関係

- (1) 基幹ネットワークのセキュリティ強化
- (2) 無線LANの強化
- (3) 事務シミュレーションシステムの安定稼働の実現
- (4) 情報セキュリティ教育の充実
- (5) コンピュータ演習室のリリース
- (6) 自己点検評価活動
- (7) 公的研究費等の監査の実施
- (8) 自己管理型点検評価チェックシステムの実施
- (9) 公益通報制度の充実
- (10) SD活動の充実
- (11) 衛生委員会の取り組み
- (12) 確定拠出年金制度の導入
- (13) 「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言の取り組み

7 財務の概要

- (1) 教育活動収支
 - ①教育活動収入計166億300万円(予算比1億3400万円増 前年度比3億9000万円増)

資金収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	14,123,000,000	14,125,963,500	△2,963,500
手数料収入	419,900,000	423,254,233	△3,354,233
寄付金収入	128,500,000	143,144,551	△14,644,551
補助金収入	752,200,000	757,773,259	△5,573,259
資産売却収入	4,300,000	4,373,051	△73,051
付随事業・収益事業収入	664,400,000	698,460,762	△34,060,762
受取利息・配当金収入	533,000,000	533,871,024	△871,024
雑収入	381,000,000	434,542,055	△53,542,055
前受金収入	5,144,000,000	6,023,759,015	△879,759,015
その他の収入	13,233,400,000	13,609,118,338	△375,718,338
資金収入調整勘定	△5,821,600,000	△5,886,330,408	64,730,408
前年度繰越支払資金	10,102,400,000	10,102,403,090	
収入の部合計	39,664,500,000	40,970,332,470	△1,305,832,470

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	7,458,200,000	7,442,929,986	15,270,014
教育研究経費支出	4,123,900,000	3,952,607,846	171,292,154
管理経費支出	1,381,400,000	1,285,153,682	96,246,318
施設関係支出	862,700,000	856,139,760	6,560,240
設備関係支出	712,800,000	697,489,712	15,310,288
資産運用支出	13,007,600,000	13,801,501,610	△793,901,610
その他の支出	2,897,100,000	3,005,152,614	△108,052,614
資金支出調整勘定	△361,000,000	△598,142,612	237,142,612
翌年度繰越支払資金	9,581,800,000	10,527,499,872	△945,699,872
支出の部合計	39,664,500,000	40,970,332,470	△1,305,832,470

教育活動収入計は、全体的科目において予算比増となった。

②教育活動支出計158億5700万円(予算比2億5600万円減 前年度比3億4600万円増)

a 人件費は、前年度比で退職金の増加があったものの、予算比1500万円減の74億4300万円となった。人件費比率は43.4%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(49.0%)に比べ、引き続き良好な水準となった。

b 教育研究経費は、消耗品費、修繕費、報酬・手数料等で予算額を下回り、予算比1億7100万円減となった。教育研究経費比率は38.7%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(35.9%)に比べ、引き続き高い値となった。今後同程度の比率が続くと予測している。

c 管理経費は、予算比69

00万円減となった。広報費、委託費、報酬・手数料など、全体としては経費圧縮に努めた結果となった。管理経費比率は10.4%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(6.1%)と比べ、若干高くなっているが、今後更なる経費圧縮に努めていく。

②教育活動外収支
教育活動外収入計は、有価証券の受取利息・配当金により、5億3400万円となった。

教育活動外支出は外貨取引等の為替差損が発生し、2億2100万円となった。

③特別収支
特別収入計は、備品等の資産売却差額で400万円、現物寄付で6600万円、あわせて7100万円となった。

特別支出計は、図書処分差額や過年度修正支出などで1億3000万円となった。

④事業活動収入計172億

教育研究経費1億2300万円増
主な内訳：消耗品費4200万円減、修繕費1億700万円増、受託研究費8800万円増、減価償却額5800万円減
管理経費6000万円増

主な内訳：消耗品費1100万円減、減価償却額7300万円増
(6) 基本金組入前当年度収支差額9億9900万円(予算比4億3400万円増 前年度比1億8500万円減 事業活動収支差額比率5.8%)

(7) 基本金組入額9億9700万円
(8) 当年度収支差額は200万円の収入超過となった。翌年度の繰越収支差額は、前年度繰越収支差額を合わせると、71億400万円の支出超過となった。

(9) 今後の課題
今後も引き続き財務基盤の安定をはかるため、次のような課題に取り組んでいく。

①学生生徒等納付金の安定的確保

②外部資金の獲得強化

③より効果的な資産運用とリスク管理の徹底

④その他の収入源確保策の検討

①管理経費の効率化

②教育研究経費の見直し

③給付金

給付金支出金額は新型コロナウイルス感染症による不測の事態を考慮し500万円を計上した。

学費貸与と学費貸与金との差額は、昨年度251万円程度であったが、今年度学費納付金貸与金に2000万円、新型コロナウイルス特別奨学金貸与金として1000万円を計上した。

学生共済会 予算、決算を承認

予算

支出の部

収入の部

受取利息

積立金取崩収入

前年度繰越金

委託費

学費貸与と学費貸与金との差額

学費貸与と学費貸与金との差額

学費貸与と学費貸与金との差額

学費貸与と学費貸与金との差額

学費貸与と学費貸与金との差額

学費貸与と学費貸与金との差額

令和2年度千葉工業大学学生共済会収支予算

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 会費収入	24,000,000	1. 支払保険料	27,000,000
2. 入会金収入	5,000,000	2. 給付金	5,000,000
3. 受取利息	3,400,000	3. 貸与金	30,000,000
4. 貸付金回収収入	16,000,000	①学生納付金貸与金	20,000,000
5. 手数料収入	1,300,000	②新型コロナウイルス感染症対応特別奨学金貸与	10,000,000
6. 積立金取崩収入	110,000,000	4. 委託費	7,200,000
		5. 消耗品費	3,000,000
		6. 通信費	150,000
		7. 印刷費	300,000
		8. 会議費	250,000
		9. 支払手数料	400,000
		10. 事務費	500,000
		11. 寄附金	100,000,000
小計	159,700,000	小計	173,800,000
前年度繰越金	23,622,774	次年度繰越金	9,522,774
総合計	183,322,774	総合計	183,322,774

令和元年度決算報告書

資産の部		正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
普通預金	23,622,774	共済基金	205,000,000
定期預金	265,000,000	積立金	195,000,000
貸付金	71,884,464	貸付充当金	71,884,464
投資有価証券	300,000,000	学費貸与準備金	165,000,000
		次年度繰越金	23,622,774
合計	660,507,238	合計	660,507,238

令和元年度収支決算書

自 平成31年4月1日 : 至 令和2年3月31日

I 収入の部

科目	予算額(①)	決算額(②)	対予算差額(②-①)
1.会費収入	24,000,000	24,682,500	682,500
2.入会金収入	4,500,000	4,640,000	140,000
3.受取利息	3,400,000	3,449,921	49,921
4.貸付金回収収入	20,000,000	16,817,359	-3,182,641
5.手数料収入	1,500,000	1,331,316	-168,684
6.学費貸与準備金取崩収入	0	0	0
7.積立金取崩収入	0	0	0
8.当期小計	53,400,000	50,921,096	-2,478,904
9.前年度繰越金	10,257,953	10,257,953	0
10.当期収入総計(A)	63,657,953	61,179,049	-2,478,904

II 支出の部

科目	予算額(①)	決算額(②)	対予算差額(②-①)
1.支払保険料	27,000,000	26,095,961	-904,039
2.給付金	3,000,000	1,616,000	-1,384,000
3.貸与金	20,000,000	25,187,750	-17,481,250
4.委託費	7,100,000	4,176,639	-2,923,361
5.消耗品費	3,000,000	2,720,250	-279,750
6.通信費	300,000	28,865	-271,135
7.印刷費	400,000	0	-400,000
8.会議費	250,000	67,555	-182,445
9.支払手数料	400,000	324,842	-75,158
10.事務費	200,000	7,413	-192,587
11.学費貸与準備金組入支出	0	0	0
12.共済基金組入支出	0	0	0
13.積立金組入支出	0	0	0
14.当期小計(B)	61,650,000	37,556,275	-24,093,725
15.次年度繰越金(A)-(B)	2,007,953	23,622,774	

注)共済会の会計では、厳密に資金の収支を確認するため、金額がゼロの科目について省略することなく記載している。

決算

令和元年度の学生共済会決算も同理事会で異議なく承認された。決算の概要は次のとおり。

収入の部では、貸付金回収の1680万円や受取利息等を併せ合計約6720万円を計上した。

支出の部では、新型コロナウイルス感染症による不測の事態を考慮し500万円を計上した。

学費貸与と学費貸与金との差額は、昨年度251万円程度であったが、今年度学費納付金貸与金に2000万円、新型コロナウイルス特別奨学金貸与金として1000万円を計上した。

委託費

学費貸与と学費貸与金との差額は、昨年度251万円程度であったが、今年度学費納付金貸与金に2000万円、新型コロナウイルス特別奨学金貸与金として1000万円を計上した。

学費貸与と学費貸与金との差額は、昨年度251万円程度であったが、今年度学費納付金貸与金に2000万円、新型コロナウイルス特別奨学金貸与金として1000万円を計上した。

学費貸与と学費貸与金との差額は、昨年度251万円程度であったが、今年度学費納付金貸与金に2000万円、新型コロナウイルス特別奨学金貸与金として1000万円を計上した。

学費貸与と学費貸与金との差額は、昨年度251万円程度であったが、今年度学費納付金貸与金に2000万円、新型コロナウイルス特別奨学金貸与金として1000万円を計上した。

118万円となった。今後も返還方法や督促方法を再度見直し、回収率アップに一層力を入れて取り組む。

支出の部では、昨年度生に学研貸付特許賠償責任保険に加入したことでインターンシップやポータル系活動中の損害賠償保険に対応できるようになった。今後も保険事業の見直しや会員の健康増進につながる支援等多様なサポートができるよう努めたい。

千葉工業大学学生共済会も32年目を迎え、会員の学生生活が豊かなものとなるよう、制度の充実を図りつつ、令和元年度も順調に運営されましたことをご報告致します。

令和元年度の学生共済会決算も同理事会で異議なく承認された。決算の概要は次のとおり。

収入の部では、貸付金回収の1680万円や受取利息等を併せ合計約6720万円を計上した。

支出の部では、新型コロナウイルス感染症による不測の事態を考慮し500万円を計上した。

学費貸与と学費貸与金との差額は、昨年度251万円程度であったが、今年度学費納付金貸与金に2000万円、新型コロナウイルス特別奨学金貸与金として1000万円を計上した。

委託費

学費貸与と学費貸与金との差額は、昨年度251万円程度であったが、今年度学費納付金貸与金に2000万円、新型コロナウイルス特別奨学金貸与金として1000万円を計上した。

学費貸与と学費貸与金との差額は、昨年度251万円程度であったが、今年度学費納付金貸与金に2000万円、新型コロナウイルス特別奨学金貸与金として1000万円を計上した。

学費貸与と学費貸与金との差額は、昨年度251万円程度であったが、今年度学費納付金貸与金に2000万円、新型コロナウイルス特別奨学金貸与金として1000万円を計上した。

学費貸与と学費貸与金との差額は、昨年度251万円程度であったが、今年度学費納付金貸与金に2000万円、新型コロナウイルス特別奨学金貸与金として1000万円を計上した。

学費貸与と学費貸与金との差額は、昨年度251万円程度であったが、今年度学費納付金貸与金に2000万円、新型コロナウイルス特別奨学金貸与金として1000万円を計上した。

消しゴムを手に喜ぶ1年生たち——いすみ市内で

対面授業再開

県内の小学校児童に「富士山消しゴム」贈る

■ 本学が10市町に



富士山消しゴム



新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が5月25日に解除されたことで、小中学校の多くが6月1日から従来通りの対面授業を開始した。本学は、包括協定を結ぶ市町の中で、昨年の台風などで特に大きな被害を受けた千葉県内10市町の児童らを中心に「富士山消しゴム」とマスクを寄贈した。

コロナ禍で長期休校した小学校児童に対し、文字を書いたり、計算したり、絵をかいたり、少しでも楽しみながら学んでほしい、と贈ったもの。寄贈後、各市町からは



寄せられたお礼の寄せ書き

「町の子どもたちのため、ありがたく活用させていただきます」と、お礼と同時に児童からの寄せ書きや手紙が次々に届けられた。

「マスクと消しゴムをありがとうございます」「たくさん勉強して、カッコいい富士山を作ります」などのメッセージが添えられ、いすみ市内の小中学校からは、消しゴムをもらって喜ぶ写真が届けられた。

関東地区の工学・技術教育の発展を促す関東工学教育協会（関東工教）は、令和元年度の関東工学教育協会賞（業績賞）を、本学先進工学部教育センター・体育教室の金田晃一准教授に授与した。5月27日付で授与した。金田准教授が進めた



主体的工学教育を評価

■ 金田准教授に関東工教賞

「工業系大学における学生の卒業研究プロジェクトを想定したPBL型の教養教育」を評価した。PBL (Problem-based Learning) は課題解決型学習などと訳され、学生が主体的に学習するアクティブラーニングの有力手法。

金田准教授は2016年度から2年生に開講した課題探究セミナー「ジャグリングを通じたスキルトレーニング」を、本学の17年度FDフォーラムで発表。教育業績表彰者に選出されたのを機に昨年、関東工教の審査会に応募していた。

授業内容は、ジャグリングを題材に①ジャグリング技術を習得する身体スキル②初心者向けにジャグリングを教えるティーチングスキル③ジャグリングの解説書を作成する文章化スキル④解説書の内容をプレゼンするプレゼンテーションスキル——の4つを、学生たちがグループワークを通して主体的に学ぶもの。

関東工教に授業を紹介

金融・経営リスク科学の越山健彦教授に授与した。越山教授は、長年、東京都消費生活対策審議会委員を務める。消費生活安定に寄与

消費生活安定に寄与

■ 越山教授に都が感謝状



する際、さらに学生自身が達成レベルをマトリクス表で評価（ルーブリック評価）し、到達課題へのコメントをデータ分析して学習効果を検討した結果を加えて報告した。

金田准教授は「教養科目でありながら授業成果が表彰されたことは、大変ありがたい。今後も学生たちに、工業大の学生として意義のある授業展開を心がけていきたいと思っております」。

全対策協議会などの部長を歴任。国では消費者庁、経済産業省などの審議委員を務め、商品の安全対策や、成人年齢引き下げに伴う契約トラブルの予防、途上国の児童労働などを助長しないエンジン（倫理的）消費の推進などに尽力してきた。

県内では越山研究室が連携協定を結ぶ習志野市の消費生活センターと技術提携し、消費生活の安全問題に貢献している。

「うんちシール」の本木さん開発

● 富士山消しゴム ●

文房具選挙で大賞に

「富士山消しゴム」は、平成16年に本学大学院デザイン科学専攻を修了した本木礼夫氏が、現在務める事務用品メーカーで開発したもので、



の。今春、「はかどり文房具」の頂点をフアンの厳正な投票で決定するコンクール「文房具総選挙2020」で大賞となった。

本木さんは本学在学中に、自転車盗難防止を目的とした鳥の糞を模したシール「鳥のうんちシール」を考案。ピレリッパングレードで実際に商品化された。また、木更津高専の50周年記念ロゴをデザインするなど、さまざまに活躍した。

「アイデアの力で世の中をプラスに——」が、本木さんのモットー。富士山消しゴムの狙いは、使った際に先端がすり減り、富士山の形に近づいていくことで「ワクワクする」「勉強がはかどる」と、意欲を応援してくれる。日々の生活の中の「わずらわしさ」や「本来なくてもいい」状況を、発想の転換で改善するような商品を作りたい——と話している。

本木さんは、母校が消しゴムを寄贈したのを知り6月23日、本学を訪問し、本学に届いた小学生の寄せ書きを瀬戸熊修理 理事長に同右から渡され、「こんなに喜んでもらえてるなんて、本当にうれしいです」「開発者冥利に尽きます」と語った。

令和3(2021)年度 千葉工業大学入学試験日程

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表日
総合型(創造)選抜 〔書類審査・課題演習・面接〕	9/14(月)～10/8(木) (消印有効)	10/24(土) 25(日)	11/2(月)
学校推薦型選抜(公募制) 〔書類審査・読解力テスト・面接〕	11/2(月)～11/12(木) (消印有効)	11/29(日)	12/3(木)
学校推薦型選抜(専門高校) 〔書類審査・読解力テスト・面接〕	11/2(月)～11/12(木) (消印有効)	11/29(日)	12/3(木)
学校推薦型選抜(指定校制) 【一般高校・専門高校】 〔書類審査・小論文・面接〕	11/2(月)～11/9(月) (消印有効)	11/22(日) 23(月・祝)	12/3(木)
学校推薦型選抜(帰国生徒指定校制) 〔書類審査・小論文・面接〕	11/2(月)～11/9(月) (消印有効)	11/22(日) 23(月・祝)	12/3(木)
特別選抜(帰国生徒) 〔書類審査・小論文・面接〕	10/23(金)～11/12(木) (消印有効)	11/29(日)	12/3(木)
特別選抜(社会人) 〔書類審査・小論文・面接〕	10/23(金)～11/12(木) (消印有効)	11/29(日)	12/3(木)
特別選抜(外国人留学生) 〔書類審査・面接・日本留学試験結果〕	9/28(月)～10/8(木) (窓口受付のみ)	11/29(日)	12/3(木)
編入学選抜 〔書類審査・小論文・面接〕3年次受入れ	9/28(月)～10/8(木) (消印有効)	11/29(日)	12/3(木)
編入学選抜(指定校制・高等専門学校) 〔書類審査・面接〕3年次受入れ	9/28(月)～10/8(木) (消印有効)	【指定校制】11/23(月・祝) 【高等専門学校】11/29(日)	12/3(木)

【一般選抜】大学入学共通テスト利用入学試験・大学独自入学試験

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表日
大学入学共通テスト利用入学試験【前期】 (2WAY方式・全学部・全学科入試)	12/22(火)～1/15(金) (消印有効)	1/16(土) 17(日) 大学入学共通テスト (本学個別試験なし)	2/10(水)
大学入学共通テスト利用入学試験【中期】 (2WAY方式・全学部・全学科入試)	2/4(木)～2/16(火) (消印有効)	1/16(土) 17(日) 大学入学共通テスト (本学個別試験なし)	2/22(月)
大学入学共通テスト利用入学試験【後期】 (全学部・全学科入試)	2/19(金)～3/4(木) (消印有効)	1/16(土) 17(日) 大学入学共通テスト (本学個別試験なし)	3/9(火)
大学独自入学試験【A日程】 (試験日自由選択方式、 全学部・全学科入試(同日併願方式))	12/22(火)～1/30(土) (消印有効)	1/31(日) 2/1(月) 2/2(火) 2/3(水)	2/6(土)
大学独自入学試験【B日程】 (試験日自由選択方式、 全学部・全学科入試(同日併願方式))	2/4(木)～2/16(火) (消印有効)	2/17(水) 18(木)	2/22(月)
大学独自入学試験【C日程】 (全学部・全学科入試(同日併願方式))	2/19(金)～3/4(木) (消印有効)	3/5(金)	3/9(火)



就職相談に訪れた学生(事前予約者のみ)

コロナ禍に襲われた来春卒業(修了)・入社組の就職活動は、就職・進路支援部の7月初旬までのまとめによると5月時点では昨年並みに推移していたが、7月に入り内定率が減速傾向にあることが分かった。これは企業の採用活動が約1カ月後倒しになった影響が表面化したものだ。

3月の広報解禁直前、コロナ感染が拡大し、就職情報誌などが運営する合同企業説明会などが軒並み中止。4月には緊急事態宣言が出て、本学も授業開始の延期を余儀なくされた。

そうした中で就職・進路支援部は、いち早く学内で開く個別の企業説明会や就活生のための面接講座、就職課が対面で行う就職相談をウェブ形式に変更。履歴書やエントリーシートの添削指導もメールを活用する方式に切り替えた。

就職・進路支援部の初期の対応により、この時期から行動していた学生諸君はスムーズに反応。企業のウェブ面接・試験を順調にこなし、「面接官と直に顔を合わせるよるウェブのほづがよかった」という声もあり、順調だった様子も見られ

就職・進路支援部の高を記録した。厚労省と文科省の発表による全国の卒業生就職を希望した人の就職率は98.6%で過去最高98.6%。

就職・進路支援部の高を記録した。厚労省と文科省の発表による全国の卒業生就職を希望した人の就職率は98.6%で過去最高98.6%。

動全般へのコロナ禍の影響は避けられず、6月中旬以降採用の不透明感が表面化してきた。

この結果、今年の就職戦線は長期化が予想されるが、長期戦となった場合一番大事なのは、最も新しく新しい情報を学生・保護者に伝えることである。

そこで、就職・進路支援部の福江聡部長は次のようにアドバイスしている。

「就活生諸君の周りにはさまざまな情報があふれていますが、千葉工大生が一番欲しい企業の本当の求人情報は就職課の就職システムの中にあるのです。就職課には表に出ている情報だけでは分からない新鮮な情報が集まっています。判断に迷ったときは必ず就職課に来てください」

就活戦線 順調スタート

■ コロナ影響 夏・秋は不透明感も

2位に「ハナノナ」

無料アプリ順位 花の種類を識別



App Storeの「無料アプリランキング」で2位に

ディープラーニングで学習した人工知能が花の種類を自動分別する「ハナノナ」。本学人工知能・ソフトウェア技術研究センター(STAR Lab II)ステアラボが開発した東京スカイツリータウンキャンパス内の人気アトラクションだ。このiPhoneアプリ版を4月10日にリリースしたところ、SNSで話題となり、5月15日にはアップル株が運営するアプリダウンロードサービス「App Store」の「無料アプリランキング」で2位を記録した。

アプリ版には、iPhoneをかざすだけで花の種類を特定できる機能が備わっている。スマートフォンに写った花を判定して



(左から右へ)草花にiPhoneをかざし、操作していくと、花の名が分かる判定画面が……

「撮影モード」により、花の名前をその場で即座に知ることが可能。また、見つけた花の写真とその名前をSNSでシェアできる手軽さもユーザーから好評だ。

開発に携わった竹内彰一副所長「写真下は「身近なものなだけで、名前が分かると楽しいもアツキ」を考えたとき、自動車を

「ハナノナ」が広がったきっかけは「新型コロナウイルスの影響で人々が外出自粛になった時に楽しいアプリとしてSNSで話題になりました。これが最初の波でした。その後、何気なく撮った柴犬(のしっぽ)がガマと判定されたというツイートをきっかけに、より大きな第二波が来たという。竹内副所長は、地方紙や地方番組、アウトドアで有名な雑誌記者などから取材を受け、「これからの季節、外に出ることもや散歩が楽しくなるアイテムとして活用してもらえれば……」と話している。

近所の散歩に楽しいアプリ

「ハナノナ」が広がったきっかけは「新型コロナウイルスの影響で人々が外出自粛になった時に楽しいアプリとしてSNSで話題になりました。これが最初の波でした。その後、何気なく撮った柴犬(のしっぽ)がガマと判定されたというツイートをきっかけに、より大きな第二波が来たという。竹内副所長は、地方紙や地方番組、アウトドアで有名な雑誌記者などから取材を受け、「これからの季節、外に出ることもや散歩が楽しくなるアイテムとして活用してもらえれば……」と話している。

本学 トップ10入り

■ 企業が「採用増やしたい大学」

日本経済新聞社と就職支援の日経HRが行った企業の人事担当者から見た大学のイメージの取り組みへのイメージを聞いた。

調査結果によると、企業からもっとも重視している調査結果によると、企業の学業力レベルの向上と比例して増やしたい大学」のトップ10にランクされた(別表参照)。

調査は全上場企業と一部の有力未上場企業合わせて4814社を対象に行われ、805社から有効回答を得た。調査内容は2018年4月～20年3月の2年間で新卒社員として採用実績のある大

- 採用を増やしたい大学
- 1位 福岡工業大学
 - 2位 文教大学
 - 3位 宇都宮大学
 - 4位 香川大学
 - 同 九州工業大学
 - 同 筑波大学
 - 同 東京農工大学
 - 同 名古屋大学
 - 9位 東京工科大学
 - 10位 千葉工業大学
 - 同 愛媛大学
- この調査の詳しい内容は日経HR発行「価値ある大学2021年版 就職力ランキング」に掲載されている。

企業が「採用増やしたい大学」

「学生のイメージ」は「主体性」と「コミュニケーション能力が高い」ことだったという。

本学はここ数年、ブランド力の向上と比例して増やしたい大学」のトップ10にランクされた(別表参照)。

調査結果によると、企業からもっとも重視している調査結果によると、企業の学業力レベルの向上と比例して増やしたい大学」のトップ10にランクされた(別表参照)。

高校教員にオンラインで

■ 本学21年度入試説明会



個別相談で高校教員の質問に答える入試広報課課員

2021年度の本学入試説明会が、全国の高校教員を対象に6月23、24、26日の3日間、オンラインで開催された。

視聴者数は3日間で127人。参加教諭からは「オンラインでも入試情報は得られてよかった」「遠方なので配信はありがたい」「今後はこういう形が一般的になるのでは」「速やかな配信はありがたい」といった声が多く寄せられた。動画視聴後さらに質問がある先生方には後日、オンラインミーティング形式で個別対応した。

新任紹介

(敬称略)

教員



三浦 元喜

(情報通信システム工学科 教授)

学生のみならず、勉強に苦痛という先入観ではなく、好奇心をもって、遊ぶような感覚で知識やスキルを身につけてもらいたいと願っています。教員として、そのよきな主体的・自発的な学びをファシリテートしていきたいと思っています。



三浦 元喜

気にかけていただいています。今後はたくさんの人と授業や研究などコラボレーションしていきたいです。一歩ずつ頑張ります！ 趣味は表千家茶道、車好き(特にスポーツ)。



五郎丸 秀樹

安藤 毅



(電気電子工学科 准教授)

着任直後に理事長、学長より訓話をいただきましたが、経営、教育、研究、学生、サービスなど明確なビジョンがあり不安が和らぎました。本学でもベストティーチャー賞を狙っていききたいと思います。趣味は思考実験、ものづくり(改造)。

西田 絢子

(デザイン科学科 准教授)

(教育センター 准教授)



砂井 紫里

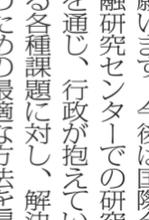
赴任直後に在宅勤務となり、機材が購入できなかったり新たな職場での不慣れだったり不安感がありました。まだ思うように出勤ができていませんが、早くコロナ騒動が収束し授業や論文用の資料作成などタスクを無事乗り切り、仕事の軌道を修正させ、リスクマネジメントにおいて新たな提案をしたいと思っています。



荒川 正頼

(国際金融研究センター 上席研究員)

研究員、職員の方々に、親切・丁寧に対応していただいています。コロナが収束し、早期に通常の生活に戻れることを願っています。今後は国際金融研究センターでの研究を通じ、行政が抱えている各種課題に対し、解決のための最適な方法を提示していきたいと考えています。



矢野 萌生

(次世代海洋資源研究センター 主任研究員)

研究に専念できる環境や、さらに新しいことにチャレンジできる雰囲気、とてもわくわくしています。研究やアウトリーチ活動を通じて、存在

職員



小堤 幹太

(就職・進路支援部 担当課長)

仕事のオン・オフの切り替えがうまく、明るくチームワークがとても良い職場です。企業での人事採用業務の経験を生かし、学生の皆さんが納得のいくスタートラインへ立てるよう支援し、大学の発展にも貢献できたいと思います。



小野 雅也

(研究支援部 係長)

先輩方に温かく迎えていただき、とても活気のある働きやすい職場です。シー・アイ・ティ・サービスでもたくさんのごを教えていただきましたが、新たな職場で教職一体となって学生を支援し「創立100周年」「世界に誇る」千葉工大の一助となるよう日々努力していきます。

岡野 輝

(入試広報部 事務職員)



PPA



PPA会長という立場で学校の活動に参加させていただいたとき、学生に対する学校側の支援の手厚さに驚くとともに、子供がこの学校で学べることに難さを感じました。我が家は自分と妻と長男の3人が千葉工大でお世話になり、もはや人生

レベルで大きな影響を受けている場であるため再び母校に関わられたことを嬉しく思うとともに活動を通じて多くの方々と接し、普段耳にしない新鮮なお話を聞かせていただくことができ、素晴らしい機会に巡り合えたことを感謝しております。学校は勉強だけでなく人間性も育むところだと言われていますが、私が在学中に最も影響を受けたのが4年間の男子寮生活に色づいていくのが楽しくあります。

私自身も、オンライン授業や在宅勤務のために得た様々なスキル(知恵)は今後にも活かされると信じています。まだまだ不安な日々は続きますが、新しい「知恵」を得ながら、健康に過ごしましょう！一日も早く、安心して大学で集うことができる「平和」な日が来ることを願っています。

経営情報科学科 滝 聖子

四季雑感



皆さんは、例年とは異なる生活の中で、どのような季節の変化を感じていますか？ 我が家では、自粛生活の5月中旬にオリーブの木に初めて花が咲きました。6月に入ってから小さかった実がどんどん大きくなっていきます。これからは大きくなった実がどのよ

さの中では、携帯を紛失したことも後回しにせざるをえず、二人で「iPhoneを探そう」機能を使っての検索はその日の真夜中に。携帯は見つからず、回線を止めようにも、マイソフトバンクを利用するためのパスワードがわからない。パスワードを取得するための契約時の4桁の暗証番号もわからない。なんてことになった(涙)。

「ひどい目にあったよー」と、キャンパスの片隅で友人たちと笑い飛ばす……。そんな普通の大学生活が早く送れたらいいのに。きらきら眩しい太陽の下、キャンパスの賑わいが待ち遠しい。

経営情報科学科 滝 聖子

編集だより



息子がアルバイト中に携帯を落としてしまった。そこから始まる笑うに笑えないお話。手が足りないから！と、アルバイト先から急に連絡があり、シフトに入ると、その状況下、別のアルバイトが一人無断欠席。手が回らない忙し

ところ、開店10時なのに、なぜか9時に行くという間抜けさ。引き揚げる帰りの道では土砂降りに遭う……。なんともさえない週末だ。

入試広報課 大橋 慶子